



かすがっこ

令和5年12月5日

文責 校長 原口 浩一

自分から かんがえ すなおに がんばる 春日っ子の育成 ~温もり~



急に寒くなりました。県内でもまだインフルエンザ警戒警報が発令中です。本校でも先月、3学級が学級閉鎖となりました。学校や家庭で体調管理と感染防止に努め2学期を締めくくりたいと思っています。ご協力をお願いします。

修学旅行 平和への祈りを長崎へ 平和への誓いを春日へ

11月13日～14日に、6年生が長崎へ修学旅行に行ってきました。前週にインフルエンザや発熱による欠席が増え、学級閉鎖となった学級もあり心配でしたが、現地で発熱する子もなく、無事終わることができました。

出発式で私からは、「春日から長崎へ平和への祈りを届けましょう。しかし願ったり祈ったりしても、今世界中で紛争が起きているように止めることはできません。長崎で学び、平和への誓いを持ち帰り、まずは平和な学級、学校にするためにできることから始めましょう。」と話しました。

1日目は、被爆体験講話と平和学習のフィールドワーク。講話では、「原爆投下後の惨状、苦しみ」だけでなく「長崎から避難した者に対する差別」「年数がたってからも発病し死に至る放射線の恐ろしさ」…最後に子どもたちに「平和を守る、戦争は絶対しないことを、学校に帰ってからみんなに伝えてほしい」と訴えられました。その後平和集会や昼食のあと、グループごとにフィールドワークを行いました。道に迷うこともありましたが、町の方々に道を尋ねながら、グループで協力し活動できました。

2日目は、長崎の歴史や文化を学ぶフィールドワークでした。歴史文化博物館、眼鏡橋、出島、中華街、グラバー園等をめぐりました。江戸時代鎖国中に唯一海外との交易が許されていた長崎ならではの街並みを感じることができました。

子どもたちは、この修学旅行で多くのことを学び感じたことだと思います。「戦争の恐ろしさや平和の大切さ」「普段一緒にいる家族のありがたさ」「友だちと協力してやりとげる楽しさ」…、ときには困ったり迷ったりたいへんさも感じたことでしょう。

訪問先でもきちんとあいさつをして、ルールや時間、食事や入浴のマナーもしっかり守ることができました。ホテルの方や添乗員さん、カメラマン等、毎年多くの修学旅行生に関わっておられる方からお褒めの言葉をいただき嬉しく感じました。さすが「自分から かんがえ すなおに がんばる 春日っ子」です。

学校に帰ってからの解散式でも「平和の誓い、持ち帰れましたか？平和な学校のためにできること、頼みますね。最上級生としての小学校生活もあと4か月です。笑顔で学校生活を楽しみましょう。」と締めくくりました。きっと修学旅行で学んだことを活かして、一段と成長した姿を見せてくれることと期待しています。



12月の行事予定

1日(金)地震火災避難訓練

7日(木)全校 5 時間授業後下校

18日(月)学期末懇談会 1～3年14:30～15:00 4～6年15:10～15:40

※児童は1～3年13:50下校 4～6年14:35下校

21日(木)全校 5 時間授業後 14:35下校

22日(金)終業式 11:30下校